目　次

館長挨拶 ー国立国会図書館の職員を志望する皆様へー …… 2

国立国会図書館職員の概要 …… 3

部局紹介

- 調査及び立法考査局 …… 5
- 収集書誌部 …… 7
- 利用者サービス部 …… 9
- 電子情報部 …… 11
- 関西館 …… 13
- 国際子ども図書館 …… 15
- 総務部 …… 17

海外との交流 …… 18

管理職からのメッセージ …… 19

若手職員の声 …… 21

採用情報 …… 22

国立国会図書館へのアクセス

東京本館

東京都千代田区永田町 1-10-1

- 東京メトロ
  有楽町線「永田町」駅 2 番出口（徒歩約 5 分）
  半蔵門線・南北線「永田町」駅 3 番出口（徒歩約 8 分）
  千代田線・丸ノ内線「国会議事堂前」駅 1 番出口（徒歩約 12 分）

関西館

京都府相楽郡精華町精華台 8-1-3

- JR 学研都市線「祝園」駅・近鉄京都線「新祝園」駅から奈良交通バス「国立国会図書館」停留所（所要時間／約 10 分）
- 近鉄けいはんな線「学研奈良登美ヶ丘」駅から奈良交通バス「国立国会図書館」停留所（所要時間／約 15 分）

国際子ども図書館

東京都台東区上野公園 12-49

- JR「上野」駅公園口（徒歩約 10 分）
- 東京メトロ日比谷線・銀座線「上野」駅 7 番出口（徒歩約 15 分）

館長挨拶 ー国立国会図書館の職員を志望する皆様へー

国立国会図書館は、昭和 23（1948）年の設立以来、出版物等の収集、保存、提供を通じて、国会活動の補佐とともに国民の知的活動を支える役割を担ってきました。

現在、国立国会図書館は令和3(2021) 年度に定めた「国立国会図書館ビジョン 2021-2025 - 国立国会図書館のデジタルシフト -」と題するビジョンの下、所蔵資料の大規模なデジタル化を核とした国のデジタル情報基盤の構築を進めています。資料をデジタル化することで、質の高い情報へより多くの人が容易にアクセスできる環境を整備し、次の世代を含めた人々の知的活動を支え、新たな価値の創造へ寄与することを目指しています。また、ユニバーサルアクセスの実現を目指して、情報システムの整備を進め、読書バリアフリーの推進や調べ方案内など社会に役立つ情報発信を図っています。

国立国会図書館としてもう一つ特徴的なことは、国立国会図書館で利用可能な情報資源を最大限活用した国会サービスです。国会議員の方々の職務を補佐するため、産業、経済、医療、科学技術等の多様な国政課題や諸外国の制度等に関する調査研究の充実化を図り、迅速かつ的確な情報提供を行っています。

現在、私たちは様々な意味で旧来の考え方、制度、慣習を見直さざるをえない時期に来ているのではないでしょうか。激動する世界情勢、気候変動に伴い頻発する災害、生成 AI をはじめとする新しい技術による社会の変化など、少し前には想像もできなかった事象が起きているといえます。これらの事象が引き起こす社会の多様な課題の解決は容易なことではありませんが、人類が蓄積してきた信頼できる知識、情報こそがすべての検討や議論の土台として必要とされるのではないでしょうか。

まさに激動といわざるをえないこの時代において、人々が未知の複雑な課題に直面した際にどのような情報や知識を求めるのかといった利用者のニーズに的確に応え、可能性に満ちた未来の創出に貢献するためには、従来の発想や枠組みにとらわれず、様々な課題に臆することなく前向きに取り組む職員の力が必要です。

国立国会図書館は、法律、人文学、経済、工学、生物学、情報処理等の多様なバックグラウンドを持つ職員が、周囲と切磋琢磨しスキルを向上させながら、個性をいかして働き続けられる場所であると思います。皆様と共に仕事ができることを楽しみにしています。

国立国会図書館長

倉田敬子